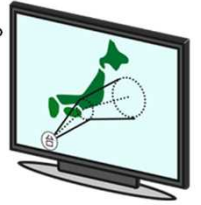


台風に備えましょう

台風とは

熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼びます。

このうち北西太平洋または南シナ海に存在し、なおかつ低気圧域内の最大風速（10分間平均）がおよそ17m/s以上のものを「台風」と呼びます。



台風の脅威（台風による災害の例）

○ 平成16年「台風第23号」

台風と前線の影響による期間降水量は、近畿北部や東海地方等で300mmを超え、広い範囲で大雨となり、兵庫県では円山川、出石川が氾濫して家屋の浸水、耕地の冠水が多く発生したほか、西日本を中心にがけ崩れや土石流が発生しました。

○ 平成21年「台風第9号」

台風周辺の湿った空気と太平洋高気圧の縁辺からの湿った空気が重なったため兵庫県では大気の状態が不安定となり、佐用町、宍粟市、朝来市などで猛烈な雨が降り、特に佐用町では1時間雨量が89mm、24時間雨量が300mmを超える大雨となり、各地で被害が発生しました。



この他にも台風は日本各地で大きな被害をもたらしています。

台風への備え

□ 家の外の備え

- ・ 窓や雨戸はしっかりと鍵をかけ、必要に応じて補強を！
- ・ 側溝や排水溝は掃除して水はけを良くしておきましょう。

□ 非常用持出袋の準備

水・食糧・生活用品・医薬品等を準備しておきましょう。

□ 避難場所・避難経路の確認

- ・ ハザードマップなどで確認しておきましょう。
- ・ 普段から家族で避難場所や連絡方法について話し合っておきましょう。

□ 情報の入手

- ・ テレビやラジオ、インターネットを活用し、最新の気象情報を入手しましょう。
- ・ 避難情報にも注意し、早めの避難を心掛けましょう。

□ 危険な場所には行かないように！

川や海、土砂災害の危険がある場所等には近づかないようにしましょう。



災害への備えをもう一度確認しましょう！